

〈十月の言葉〉

塩沼亮潤 著 「心を込めて生きる」より

「正しい見解」

自分が正しいからと言って、胸を張ったり、強さが先行して優しさに欠けたり心配りが足りなかつたりするかえって相手の心に刺さってしまいが陰で涙を流すこともあります

人というのは自分が悪いと思っていても人から言われると素直に認めたくないものです
自分の正しい見解でもって相手を責めるのではなく
広い心でもって相手に接する
寛容さが必要です